



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / 高齢者集合住宅 / ケアハウス / グループホーム

No. 278号

2008(平成20年)3月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15

発行人：橋本正明

ホームページ：<http://www.shisei.or.jp/>

TEL 042-527-0031(代) FAX. 527-2646

編集：広報委員会

Eメール：[shisei-home@shisei.or.jp](mailto:shisei-home@shisei.or.jp)

Shisei Senior Service Center

## (仮称) 至誠ホームなみき事業

(仮称) 至誠ホームなみき開設準備室室長

旭 博之

現在、至誠ホームでは、国分寺市並木町に新しい複合拠点施設を開設する計画を進めています。

具体的には、平成18年の介護保険法改正で創設された地域密着型サービスの「小規模多機能型居宅介護」「地域密着型小規模特養」「認知症グループホーム」を平成21年春にオープンさせるものです。

国分寺市の高齢者保健福祉計画に位置づけられた整備計画に則って、国分寺市並木町三丁目に整備・開設します。

この計画では、上記三つの介護保険事業にプラスして、高齢者専用の賃貸住宅を7世帯、9名程度用意します。

また、総合的な相談や自立した高齢者への支援も担う総合相談機能をもった相談センターも併設させる計画で、周辺にサービス量が少ないこの地域で、高齢社会をがっちりサポート

とする拠点を目指します。定員29名の特養と2ユニット18名のグループホームは、全室個室のユニットタイプで、2階と3階に配置します。

小規模多機能型は、通う、泊まる、訪問する、の三つのサービスを、利用者の必要に応じてタイムリーに提供するものです。一日15名の通所定員、宿泊は最大5名です。

さらに、「0歳から100歳以上まで」を幅広くカバーする「社会福祉法人至誠学舎立川」の特徴として、同一敷地内に児童のグループホームを建築する計画です。まもなく創立100年を迎える法人のフラッグ的なシンボル事業としても、この事業は期待されています。

2月の下旬からすでに計画地の既存建物の解体整地が始められており、2月25日には、建築の入札も終わり、



完成予想図

建築会社も決定しました。

年度内には着工し、お正月には建築を終了させて、開設準備を整えて、平成21年の4月にオープンの予定です。

今のところ他に同様の計画が無いユニークな「地域密着の複合拠点」計画です。なにぶん前例が無いので、準備室も多事多難の毎日ですが、ひとつずつ難問を解決しながら進んでいます。ご期待ください。

## 第10回を迎えたキートス「悠遊セミナー」

2000年4月開設の至誠キートスホームに入居者の家族会(名称は「至誠キートスホーム悠遊倶楽部」が発足したのは、その3年後の2003年4月のこと。早速世話人会の会合で取り組まれたのが「悠遊セミナー」の開催でした。

テーマや講師はジャンルに囚われず、また入居者やそのご家族だけでなく地域の人々に幅広く呼び掛けることとし、約半年に1回程度開催、3月8日で10回目を迎えます。

歩みを振り返ると、第1回「住まい型ホームでの自分らしい生き方(大村洋永園長)。第2回「伊佐雄治シルクスクリーン版画展『万葉に寄する』(伊佐雄治東海大学芸術学科教授)。第3回「フィンランドの自然と生活と神話」(橋本ライヤさん)。第4回「タンゴの調べ」(アコーデオンの小川経子さんを中心にピアノ・バイオリンのトリオ)。第5回「自転車諸国漫遊記(山住圭職員)。第6回「門脇久芳写真展『オーロラ極北を求めて』(写真家の門脇久芳さん)。第7回「ギターと歌の

ホームコンサート」(ギタリストの奈良守康さん。音楽家の仙田文江さん)。第8回「地域の生活」をめざすホームキートスの夢(入居者・ご家族・ボランティア・職員の四者によるトーク)。第9回「自分らしい人生…輝かな生き方・行き方」家族間の協力のあり方をご一緒に考えてみませんか(塩安佳樹キートスホーム嘱託医)でした。第10回目は「特養ホーム・入居者の満足・家族の安心・職員の誇り」と題し、大村園長の講演が3月8日の午後に行われます。



写真は塩安佳樹嘱託医

## 小学生のボランティア体験から

立川市立第3小学校の六年生が総合学習の一環として、至誠ホームでご利用者とふれあいのひと時を過ごしました。3回の訪問で、「人はかわりを持ちながら生きている」ことを体験出来たようです。後日参加された皆さんから「楽しかった」と、お礼の手紙をいただきました。その中から一編を紹介させていただきます。

(ボランティアコーディネーター 佐藤 美智子)

十二月に入り、寒さも厳しくなってきましたね。私は、母がヘルパーの仕事をしていて、いつも仕事の話をしてくれれます。それを聞いてどういふことをどういふ風にやっているのか、興味があつたので、至誠ホームで体験をさせてもらうことにしました。最初は、どのように接すればいいのかがとまどいましたが、高齢の方々はたくさん話しかけてくれたし、佐藤さんや寺澤さん達の助けもあり、楽しく終わることができました。

高齢の方々とお話をさせてもらって、どのように生活しているのかを知ることができたし、様子を見ていて大変そうだと思うこともたくさんありました。あと、お母さんがどんな仕事をやっているのか分かったし、私もどうやって喜んでくれるか考えたりするのは大変だったので、毎日こんなことをやっているお母さん、それと、至誠ホームのみなさんはすごいと思いました。

これからは、大変な仕事をしているお母さんにたくさんお手伝いをするのと、こまっっている高齢の方などを見かけたら、声をかけて少しでも手助けができるように心がけていきたいです。

今回は、いろんな体験をさせてもらい、いろんなことを気付かせてもらってとてもうれしかったです。ありがとうございました。

立川市立第3小学校 6年 古屋実希



# 地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター1042 (538) 2339  
立川市にしき福祉相談センター  
042 (527) 0321

## 後期高齢者医療制度について

平成20年4月より新たに「後期高齢者医療制度」が創設されることとなりました。

これはこれまでの老人保健制度に代わるものとして75歳以上の方と65歳以上で一定の障害のある方を対象としたもので、制度を独立することにより、高齢者の心身の特性や生活実態などをふまえた「医療費の適正化」を視野に入れた新しい医療保険制度です。

東京都の場合にはどう変わるのか、ご説明いたします。

### ●運営は「広域連合」が担います。

保険料の決定や医療費支払い等の運営は、今までの国民健康保険や社会保険等が担っていましたが、これからは都内62区市町村で設立した「東京都後期高齢者医療広域連合」が担う事となります。保険証引渡し等の各種事務手続き窓口は「各市区町村」が行います。

### ●都内均一の保険料

従来の制度では加入する保険制度によって保険料に違いがりましたが、この制度では都内均一の保険料となります。保険料の納付は一人一人が原則年金からの天引きで行ない、所得に応じて軽減措置なども講じられます。今まで被扶養

者になつていた方も保険料を負担しますが、平成20年4～9月は負担凍結が決定しています。保険料額は「所得に応じて負担する分(所得割)」と「被保険者皆が等しく負担する分(均等割)」から成ります。20年度の均等割額は37800円、所得割額は所得×6.56%です。

### ●1人1枚の保険証

75歳になると、自動的に加入中の各社会保険・国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移行します。今までは、保険証と医療受給者証の2枚を持って受診していましたが、今後は1人1枚保険証が交付されます(平成20年3月に発送予定)。医療機関ではこれまでと変わらずこの保険証を提示し、かかった費用の1割または3割(現役並みの収入がある方)を自己負担します。

### ●高額医療・高額介護合算制度の創設

同一世帯の被保険者において、後期高齢者医療と介護保険の両方の保険から給付を受け、高額な自己負担が発生した場合に、合算した額について年額上限を設け、負担軽減を図る制度が新たに創設されました。

お問い合わせは 立川市の場合…市民生活部 保険課へ

スオミグループホームでは、仲間づくりと前向きに生きるために、いつも新しいものに挑戦している。

「句会」もその一環である。定例日は、毎月第一木曜日の午後2時。昼食の時間が済んで一休みの後、全員が職員と一緒に白板の前に、居間にある円形のテーブルを囲んで座る。

職員が毎月の季語を出す。2月は「節分」だった。最初に、参加者の皆さんから季語から連想される言葉や事柄を2つ3つ口に出してもらう。例えば、いつも良く働くAさんは「節分と聞かれて、「昔は、節分に目刺を食べた」と。職員は、その目刺の大きさは、どの位で、何匹位だったのかと水を向ける。その中から「小さく、二寸位だったね」と、指で大きさを示すうちに、「目刺は、一本の串に並んで刺さっていたね」と懐かしい記憶がつむぎだされ、

「節分会一寸ほどの目刺焼く」の作品が生まれた。

また、長いこと畳職人として地域で活躍していたIさんは、昔の親方の豆まきの状態を思い起こしていた。「そう言えば、昔はトイレが庭先にあつた



## 「俳句に挑戦」

んだよ。親方は、其処まで寒いのに出て、隣の家にも聞こえるほどの大きな声で、豆まきをしていたね」と皆さんに説明。作品は、「畳屋の親方豆まく廁まで」となった。

1月の季語は「正月」だったが、この時、Iさんの作品「晴れ着きて夫惚れなおす後姿」に拍手喝さいが起きた。

Tさんの心には、いつも、亡くなられたご主人がいて「お正月の着物姿の夫は、後姿が特別に綺麗だったわよ」とはにかむ。それで、どうだったのかと感想を聞かれ、生まれた作品である。そのほかにも、「弾き初目お琴の糸のびんと張り」Aさん「豆まきや犬の喜び尾をふりて」Sさん「節分の目刺の少し塩強し」Mさん「飛魚だしで煮つめておりし雑煮かな」Hさん

毎月の俳句の時間は、昔を思い出す回想の時間でもある。若い時の暮らしが変化に富んでいる方ほど作品が楽しいとは、俳句同人でもある職員の話である。

(至誠ホームスオミアクティブィティ・

プロデューサー 佐藤典子

後援会コーナー

後援会費納入者ご芳名

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。  
(平成19年12月1日〜平成20年1月31日敬称略・順不同)

- 木島三郎 岩下商事(株) 山口寿美子
- 竹村和子 山崎厚子 勝木敬子
- 高田智恵子 藤島昭子 永田徳雄
- 樋口幸子 磯崎美佐子 磯崎静子
- 内田 稔 保坂孝三 小俣明洋
- 野上温子 小保方忠好 山川和代
- 藤野タカ 早野時枝 桜井悦子
- (株)ユーアイ自動車工業 大山 一
- 木田たみ 大倉樹一郎 成川昭平
- 小川昌子 小川定時 八木ヒサ
- 辻口喜明 深井文雄 深井貴美子
- 青木和子 筋 宮子 飯田能子
- 渡邊晃堂 鈴木有子 以上37名

あとがき

理事 深澤よし子



三月花便りの頃となりました。ホームの眼前には富士山の残雪を拝み眼下には多摩川の清流のせせらぎを聴き、ホームのけやき広場には色とりどりの花が咲き乱れてお年寄りの生活の営みを和ませております。後援会の皆様には益々のご健勝をお祈り申し上げます。

ホーム日誌

平成19年12月1日〜平成20年1月31日

- 12月2日 フィンランドからの研修生帰国
- 4日 杉井弁護士相談日/職員自主研修会「北欧研修報告会」
- 7日 餅つき(錦)/フィンランド研修報告会(キートス)
- 8日 介護予防教室・アミュー立川(にしき福祉相談センター)
- 9日 介護予防教室(ケアセンター)もとまち
- 12日 望年会(和光)/クリスマス会(もとまちD)
- 14日 クリスマス会(錦特養)
- 15日 訪問介護員養成研修2級課程修了式/悠遊倶楽部世話人会(キートス家族会)
- 16日 おもちゃ図書館(キートス)
- 19日 クリスマス会(キートスD)
- 20日 立教大学出講(キートス)
- 21日 Happy Thanks Party(スオミ)/居酒屋キートス/市民活動センターたちかわ事業推進委員会(キートス)
- 22日 東京都実施指導(もとまち通所・居宅)
- 23日 スオミ・ミュージック

ボランティア受入/福祉学習協力状況

種類	期間	平成19年度 12月~1月	平成19年度 累計
一般ボラ		1,818人	9,764人
ボランティア体験		20人	364人
実習・研修		177日	1,144日
体験学習		0人	739人
見学・視察		38人	246人
ご慰問・ご招待		1件	5件

至誠ホーム利用者状況

(平成19年12月1日~20年1月31日) ( ):実人数

事業内容		12月	1月	累計
<b>至誠ホーム統括事業本部</b>				
自主事業	ふれあい夕ごはん事業	599(60)	551(62)	6,306
	ホームケア食事サービス	0(0)	0(0)	0
<b>至誠ホーム錦ブロック</b>				
委託事業	自立者短期入所事業(軽費)	8(1)	0(0)	20
介護保険	短期入所生活介護(特養)	586(62)	572(65)	6,024
自主事業	保養ステイ事業(軽費)	34(4)	38(3)	155
<b>至誠ホームスオミブロック</b>				
自主事業	短期利用自主事業(スオミグループホーム)	31(2)	26(1)	88
委託事業	生甲斐活動支援通所事業(至誠デイケアセンター)	8(1)	8(1)	82
介護保険	通所介護(至誠デイケアセンター)	742(29)	719(26)	7,940
	通所介護(もとまち)	481(8)	452(8)	4,314
	訪問介護(至誠ホームヘルプ)	1133.0(19)	1104(19)	11,462.5
	訪問介護(コミホームヘルプ)	668(15)	696(16)	6,320.5
	居宅介護支援事業(至誠)	134	135	1,313
	居宅介護支援事業(もとまち)	60	58	524
<b>至誠ホームキートスブロック</b>				
介護保険	短期入所生活介護(キートス特養)	616(79)	659(90)	6,630
	通所介護(キートスデイサービスセンター)	969(39)	940(40)	9,845
	訪問介護(キートスホームヘルプ)	1257.5(36)	1232(36)	12,143
	居宅介護支援事業(キートス)	180	171	1,750
委託事業	自立者短期入所事業(キートス)	0(0)	0(0)	0
介護保険	通所介護(柏)	736(24)	733(26)	7,998
	居宅介護支援事業(柏)	70	70	711

ボランティア活動状況 活動内容別

活動内容	期間	平成19年度 12月~1月	平成19年度 累計
生活支援		443	2,410
健康づくり		273	1,300
生き甲斐支援		649	3,506
地域支援		233	1,248
行事		134	901
調理		0	0
事務等		86	399
ボランティア体験		20	364
合計		1,838	10,128

ボランティア活動状況 地区別

地区別	期間	平成19年度 12月~1月	平成19年度 累計
錦地区		1,127<12>	6,236<229>
幸・柏地区		711<8>	3,892<135>
合計		1,838<20>	10,128<364>

<>はV体験で内数

※入居施設設定員 至誠特別養護老人ホーム 150名 至誠ホームキートス 70名  
至誠和光ホーム 50名 至誠ホームスオミ・ケアハウス 50名  
至誠ホームスオミ・グループホーム 9名  
※高齢者集合住宅 シルバーピアせいで 15戸



25火 ステージ(クリスマススをハッピージャズで楽しもう)  
 全体集会(錦)  
 28金 お気楽会(和光)

1月 新年祝賀式(錦、キートス、スオミGH) / 新年萌黄色の集い(スオミCH)

3土 新春映画会(キートス)  
 15火 新春クラブ発表会(錦) / 至誠  
 コミホーム運営委員会

16水 柏町団地隣人会出講(キートス)  
 17木 どんど焼き / 和光会役員会  
 18金 居酒屋キートス / 職員自主研修  
 会「福祉サービスマスクマネジ  
 メント研修」

19土 家族会幹事会(錦)  
 20日 おもちゃ図書館(キートス)  
 21月 韓国より実習生2名来日  
 職員自主研修会「嚙下障害のあ  
 る方の機能回復支援」 / 生涯学  
 習市民リーダー研修会出講  
 (キートス)

23水 平成20年度職員採用試験  
 職員自主研修会「北欧研修報告  
 会」

27日 スオミミュージックステージ  
 (新春篠笛の音色)  
 29火 春の歌声コンサート(白梅学園  
 清修中学校合唱) (錦)

30水 大分県老人福祉施設協議会出講  
 (キートス)

**感謝録**

温かい御支援・御協力下さいました方々  
 に厚く御礼申し上げます。(敬称略)

**①金員の部**

平成19年12月1日～平成20年1月31日  
 東京少年友の会 下東玲子

浦野直子 関岡武次 浦野正男  
 KOMI & 福祉研究所金炳順  
 春山順子 橋本ライヤ あゆみの箱  
 12件(延175件)

**②物品の部**

菅原靖代 塚本美代子 加固実枝  
 草野栄雄 伊東喜一 佐藤京子  
 ホテルベニヤ 至誠学園 浜口 哲  
 (株)三菱地所設計総務部  
 フラワーデコレクターカルカ  
 ヘアクリーン倶楽部  
 梅田会計事務所所長梅田たかひろ  
 小原美智子 田中良雄  
 昌樹寺井舟哲全 御野照雄  
 アビリティーズ・ケアネット(株)代表取  
 締役会長兼社長伊東弘泰  
 社団法人立川法人会女性部会  
 真如苑 (株)原経営総合センター  
 「くろろう会」事務局  
 中央法規出版(株)企画編集部

**③ボランティア**

25件(延117件)

**(1)一般ボランティア(錦地区)**

【立川市】 エクセルシオ 菊正会  
 錦六茶友会 五月会 さわやかグ  
 ループ シルバーVメイツ 談話室  
 アイアイ 末日聖徒イエスキリスト  
 教会 みどりの会 もみじ会  
 立正佼成会立川教会婦人部 朗読サ  
 ークル「こえ」 穴澤 宏  
 綾部 勇 安藤道子 井澤いつよ  
 磯野初子 内田 稔 内野光子  
 小瀬美智代 及川悦子 及川清一  
 大井田フサエ 大古春子 大澤康子  
 大島昭雄 大谷和恵 尾蘭栄子  
 加藤衣子 加藤 清 加藤典子  
 神田京子 北島君子 木村玲子  
 久保田友子 蔵田郁枝 黒岩倭文子  
 小泉喜与子 小菅房子 佐伯登美江

酒井恵美子 寒河江峯 坂本美智子  
 櫻井智介 櫻井百合子 佐藤ゆかり  
 佐々木慶吉 佐々木希歩 佐藤美智子  
 山同千賀子 篠村綾子 島田いそみ  
 島田善彦 島津京子 杉田幸子  
 鈴木恵子 鈴木幸子 鈴木光子  
 関口敏江 鷹左右清道 鷹左右元代  
 田原衣子 田村英恵 筒井常雄  
 寺澤育代 戸井田正男 遠山百世  
 戸田フミ子 中村八重子 永森初子  
 似内フサエ 野上温子 野口初子  
 野村祥子 野呂芝芳 橋本ライヤ  
 長谷川英子 波多野良子 初沢紀子  
 林 幸 蛭田妙子 古谷文子  
 細川光子 堀田亜香里 増淵絹子  
 三守諄子 南館近子 宮内雅子  
 宮下皆子 宮本健寿 村岡静枝  
 百瀬千枝 安ヶ平金造 山内幸子  
 山岸とし子 吉永豊子 和田夏子  
 【日野市】 石井匡代 伊藤信子  
 今井幸子 岩下昭子 大場春子  
 大矢洋子 小澤洋一 金尾眞砂子  
 小塩菊子 阪口まり子 園部和子  
 竹内美幸 永島律子 中山きよ子  
 西垣まき子 榊田輝子 目黒美知子  
 横松花菜 吉崎武子 渡辺洋子  
 小林一子 岩城トミ 蔵多美智子  
 温品典子  
 【国分寺市】 国分寺婦人Vグループ  
 安斎 恵 木村富吉 鈴木久美子  
 平澤みどり 前田博美 諸井 緑  
 ともしび法話会

**【他市】**

阿川聰子 小澤重太郎 木下紀子  
 木下裕紀子 黒沢香菜 小室恵里奈  
 佐藤寿人 佐藤裕子 菅原晶子  
 高石ふみ子 中村奈保 橋本絵美  
 松本祥枝 諸江幸恵 山内 孝  
 山崎繁子 延1115名  
 一般ボランティア(キートス)  
 【立川市】 おもちゃ図書館 音楽隊  
 キンキラーズ 上水めぐみ教会

立川ユニークダンス「さわやか」  
 東京アコデーオンメイッ  
 朗読サークル「こえ」  
 荒井和子 荒金啓子 池田三郎  
 稲垣明子 岩田綾子 潤井和子  
 大橋こう 大森千代子 大家千枝子  
 小川経子 小熊艶子 織原良江  
 金森 耐 菅生佳子 川崎芳男  
 河野美和子 菊地浩子 菊池正勝  
 岸 みつ江 木村浩通 草場久子  
 葛野芳子 久保敏子 紅林由美子  
 黒田眞知子 黒野一十三 小坂邦子  
 小嶋アキ子 坂口洋子 櫻井百合子  
 佐野房子 三中西せい子 清水淳子  
 清水真理子 新林春子 鈴木洋子  
 高塚光二 高橋明子 高橋 貞  
 高橋雪子 武井郁治 武井容子  
 田中清子 田中美智子 地下幸子  
 富永有里乃 中野庸夫 中山君子  
 成田 綴 服部ちづ子 羽中田しのぶ  
 花見瑛子 浜野好雄 別府ひろ子  
 細村ふみ 丸山淳子 三澤友恵  
 溝口礼子 宮坂一栄 持丸 治  
 持丸弘子 桃野幸子 森下成子  
 山川和代 山本美佐子 横川澄子  
 和田靖史

**【国分寺市】**

安藤公子 大山勝美  
 小野俊雄 勝倉ナホミ  
 蔵方寛隆 蔵方律子  
 鈴木小波 松村八千代  
 和太鼓「響」  
 ロゼラニ・ウイングス  
 内田喜美子  
 木島 満  
 小林正徳  
 田中新也  
 土方和子  
 横川好行  
 延613名

# 福祉学習協力

一般ボランティア(柏センター)  
 石井信子 岩田綾子 岩本賢子  
 大山紀子 黒田直子 小林正子  
 小林好子 齊藤 究 高橋明子  
 高橋雪子 中野庸夫 花房孝助  
 広木かほる 藤原恵美子 土方和子  
 師岡恵美子 鷺沢芙美 延90名

(2) ボランティア体験  
 〔錦〕 立川市立第三小学校  
 立川市立第七小学校 延12名  
 (キ) 八尾玲子 (1名)  
 砂川高校 一部・二部 奉仕 (6名)  
 延8名

(1) 実習研修  
 ◎社会福祉士  
 日本福祉学院 高橋光枝(12日)  
 ◎ユニットケアリーダー研修  
 飯塚敦子・荒井滋・羽賀靖・谷口美沙子・吉田和恵・保坂英志・熊本勝・小野佳代・梶俊太・足立智史・高橋勇介・浜崎保・原温子・山田恵・中野洋子・二田ゆきえ・田中深雪・本間咲子(各5日)

◎訪問介護員養成研修1級課程  
 東京YWCA専門学校1名(1日)  
 ◎訪問介護員養成研修2級課程  
 至誠ホーム10名(15日)／地域福祉サー  
 ビス協会3名(6日)／財団法人総合  
 健康推進財団5名(15日)  
 ◎その他の実習研修  
 立川市立看護専門学校6名(各4日)  
 ／聖潔大学 洪恵貞・朴熙柱(各7日)  
 延177日

(2) 体験学習  
 なし

(3) 見学・視察  
 社会福祉法人きさら会・特養ホーム「  
 せんねん村」中沢明子施設長ほか3名  
 ／社会福祉法人町田市福祉サービス協  
 会・特養ホーム「コムンス」職員2名  
 ・家族会役員4名／社会福祉法人三篠  
 会・特養ホーム「三篠園」酒井慈玄理

事長ほか2名／新宿区健康部介護保険  
 課職員2名／社会福祉法人杏樹会・特  
 養ホーム「杏樹苑」村上紀子介護課長  
 ほか5名／韓国KOMI&福祉研究所  
 金炳順所長ほか17名  
 計38名 累計246名

(4) ご慰問・ご招待  
 白梅学園清修中学校1年生76名先生5  
 名「春の歌声コンサート」  
 計1件 累計5件

## 短歌作品集「根川のほとりに」を出版

### 300円で販売いたします。

至誠ホームスオミは元気な高齢期の方々が50人暮らすケ  
 アハウスで、文化・健康・社会参加活動が盛んです。

このたび、その文化活動の一つ「三枝短歌セミナー」が  
 3年間の作品をまとめ、発刊いたしました。

三枝短歌セミナーは、毎月1回スオミの4階ラウンジで、  
 講師にご指導いただき学んでいます。

「短歌のような静かに学ぶものが欲しい」「人生のラスト  
 メッセージを短歌で残したい」という居住者の希望により、  
 スタートしたセミナーです。

受講者は、スオミ居住者と和光ホームの方16名。講師は  
 三枝昂之先生です。先生は、今年の宮中歌会始の選者でも  
 あり、昨年は「昭和短歌の精神史」で、芸術選奨文部科学  
 大臣賞他5賞を受賞された日本短歌界の巨匠です。親しみ  
 やすいお人柄と見識の深さで、受講者の能力は大きく開  
 き、成長することができています。

「これまで忙しく生きてきたので、自分の感性が自然の  
 風物にこのように感動するとは思わなかった」「短歌の深  
 さを知るごとに自分の見つけ方も深くなり、短歌が生き甲



斐になった」「先生  
 に褒められた日は嬉  
 しい」と、暮らしの  
 中に短歌が根付いて  
 きました。締切日には全員が3作品を提出して、講評に臨  
 みます。哲学的思考の短歌から日常茶飯を楽しむ歌に変化  
 したり、鬱傾向が先生に褒められて前向きな暮らしになっ  
 たりと、短歌が人生をより豊かなものとなるのに役立って  
 います。

作品集は、参加者の声で、昨年8月から準備し、12月末  
 に発刊いたしました。タイトルは「根川のほとりに」とし、  
 表紙絵は川の水と林のイメージで、B5版40ページ。参加者  
 が印刷費を負担した自費出版の形です。内容は各受講者の  
 作品、1人17作品と「私と短歌」と題する囲み記事で構成  
 されており、講師の「歌の幸福」の寄稿もあります。

1冊300円。希望者はスオミ(佐藤)にお申し込みく  
 ださい。  
 電話申し込みは、042-527-0033です。